

おひさま



相馬市立大野小学校

第1学年 学年だより

No.51

令和5年3月3日

学年だより

QRコード↓



得意なところ 苦手なところ・・・

先日、相馬市学力調査の結果をお渡ししました。国語科・算数科の問題別正答率の学級平均を、相馬市の平均と単純比較しました。比較することで、子どもたちの課題も見えてきます。

国語科の読み取ることでは、相馬市が重点を置く読解力向上（RS）の視点が重要になります。これからも、授業での取り組みはもちろん、毎週RSタイムに取り組ませたいと思います。

算数科では、与えられた問題を解くだけではなく、自主的に問題を解くことも数学的な学力向上に繋がると考えます。いわゆる「自主学」「自主勉」が大切になると考えます。

| 教科 | 良かったところ | 課題 | 対策 |
|-----|---------------------|---|--|
| 国語科 | ○漢字を読む ○文章を書く | ▲話を聞き取る ▲物語を読み取る ▲聞いたことをもとに発表する | ①大事なことは何かを考えながら聞いたり、話したりする。 ②主人公の気持ちを考えたり、場面の様子を想像したりしながら、物語を読む。 ③話す順序を考えて話す練習をする。 |
| 算数科 | ○時計の見方 (何時, 何時半) | ▲ひき算 ▲図形の問題 ▲3つの数の計算 | ①簡単なたし算、ひき算の反復練習から始める。10のまとまりを上手に使う計算をする。 ②身近なところにあるものの形を調べるを通して、図形に興味をもつ。 ③工夫しながら計算をすることで、速く・簡単・正確に（はかせ）計算する。 |

風車で遊んだよ

生活科の学習で、風車を作って遊びました。材料は、紙コップ、割り箸、画鋸で、とても簡単に作ることができました。子どもたちが、校庭で走ると、風車はクルクル回りました。とても楽しかったようです。



裏面へ

親父の小言22

学年だより第39号(12月16日発行)でお知らせいたしました朝の会の「先生のお話」の続きです。前回は、日本語になつていない言葉を発表すると子どもたちは担任が話すだろうと考えることを発表してくれました。最近では、こんな感じでした。

担任：「はい、どうぞ。」

子ども：「先生がお話をするので、姿勢をよくし

ましょう。」

担任：「正解。まだあります。」

子ども：「今日は体育があるので、たくさん体を

動かしましょう。」

担任：「正解。しっかり準備運動をしましょう。

まだあります。」

子ども：「今日は水曜日なので、掃除がありま

す。」

担任：「正解。自分の担当場所をしっかりと掃除し

ましょう。まだあります。」

子ども：「明日は弁当の日なので、お弁当を持っ

てくる。」

担任：「一日早いけど、正解。お家の人が作って

くれる弁当なので、残さないうで全部食

べましょう。まだあります。」

子ども：「今日頑張れば、2回休みです。」

担任：「正解。今日金曜日を頑張れば、土日の二

回休みになります。」などなど。

つまり、担任はあまり話せず、子どもの発言が中心となつて、話が進みます。「主体的で対話的な活動」になっておきます。時には、新聞記事のことも発表してくれます。担任に代わってどんどん発表してくれる子どもたちに拍手。